

YOKOHAMA 千年の杜 世界各地の従業員 みんなで大切に育てています

「YOKOHAMA千年の杜」では、土づくりをはじめ、どんぐりの採取・育種、苗床づくり、植樹などすべての活動を従業員と地域の方々の手で行っています。ここでは、世界中に広がる杜づくりの輪に参加した従業員の声を紹介します。

横浜ゴムの思い

私たちは、原材料のゴムを中心に自然からのさまざまな恩恵を受けて、事業を行っています。また、生産活動に伴って自然環境へ負荷をかけていることも事実です。このような認識の下、横浜ゴムグループは、事業活動が与える環境への負荷を最小限化するだけでなく、工場の存在自体を、環境に良い影響を与えられるものにし、考え、「YOKOHAMA千年の杜」を展開しています。このプロジェクトを通して、「環境意識の啓発」、「防災、環境保全林の形成」、「温暖化抑制への貢献」、「生物多様性の維持」、「地域社会とのコミュニケーション」といった目的の達成を目指すとともに、どのようにすれば活動の意義を最大化できるのか、常に模索しながら取り組みを進めています。

千年の杜プロジェクトの概要

植物生態学者 宮脇昭氏のご指導の下、創立100周年を迎える2017年までに、国内7生産拠点、海外11生産拠点で、合計50万本の苗木を植える予定です。

2009年度は、12拠点で実施。5,948人が参加し、53,639本の苗木を植樹しました。これまで、国内外あわせて133,720本の植樹が完了しています。

横浜ゴムから世界に発信

横浜ゴムは、「最高の技術は土地本来の本物のいのちの森とのみ共生する」という哲学を掲げ、明日を植える、心に木を植える、そして最高の技術と共生する本物のいのちの森づくりを進めています。横浜ゴムから、地域の人たちとともに森づくりのノウハウと、その素晴らしい成果を世界に発信していただくと心から期待しています。(コメントの一部を要約)



植物生態学者 宮脇昭氏

杭州横浜輪胎有限公司

このプロジェクトは、将来の子どもたちが生活しやすい、きれいな環境をつくる活動で、周りのみんなも応援してくれています。一人一人の小さな力を大きな力へと変えて、より良い環境をつくりあげていきたいと思っています。



朱建青

ヨコハマタイヤ マニファクチャリング(タイ)

泥まみれになりながらも植樹活動を楽しんでいる地域の方の姿をみて、積極的に参加したいと思うようになりました。一企業の小さな取り組みですが、世界に同様の活動が広がれば環境は改善できると信じています。



Wora-anong Doungkratoke

ヨコハマラバー(タイランド)カンパニーLTD.



私たちの拠点では、毎回の植樹祭に、従業員のほぼ全員が参加しています。この活動は、参加者の環境意識を高めるだけでなく、みんなでお互いに協力し合うことで良い人間関係を築くことができる活動だと思います。

Nongnuch Meerot

尾道工場



植樹に参加して徐々に土に触れ、懐かしい気持ちと、みんなで一つのことを成し遂げる達成感を味わうことができました。この「いのちの杜」づくりに参加して、地球の未来の環境を自分たちで築いていきましょう!

眞鍋 充

ヨコハマタイヤフィリピンINC.

フィリピンでは年々、自然林が減っており、私たち一人一人が行動を起こす必要があります。このプロジェクトは地球の美しさをよみがえらせることができる活動ですので、少しでも多くの方に参加していただきたいと思います。



Patrick Pineda

長野工場

家族や友人と参加することで環境に対する関心が高まり、それが環境保全への一歩になると感じています。土を耕したり、どんぐりから苗を育てるなどの苦労があったからこそ、盛大な植樹祭ができたと思います。

松下 好人

新城工場

これまで11回の植樹祭に参加。参加前は環境活動について他人事と考えていましたが、今は自分でできることをやろうという気持ちになりました。皆さんも、まず1本植えてみませんか! 楽しいですよ。



内藤 勝

三島工場

7月から10月まで毎日参加した丸太の伐採や運搬などはとても大変な活動でしたが、近所の方からの麦茶の差し入れや協力的な言葉は、大きな励みになりました。実行し続けることで、周囲の人も協力してくれることを実感しました。

寺本 義行

茨城工場

地球の資源を守るために、自分たちの会社が国内外で地道に植林していることを知り、私も環境に少しでも貢献しようという意識が増しました。普段地球から受けている恩恵を「恩返し」していきたいと思っています。

浅場 昇

三重工場



子どもと一緒に、初めて参加しました。大勢の仲間と和気あいあいとした雰囲気の中で、子どもも楽しそうに生き生きと苗木を植えており、親子で環境についていろいろと話をする良い機会になりました。

助田 春美

ハマタイト工場



自分たちの植えた苗木が、5年後、10年後にどのように育っていくかが本当に楽しみです。活動に参加することで、環境意識が向上していくと思うので、まだ参加したことのない職場の同僚にも勧めたいと思います。

矢島 貴

平塚製造所

植えた木の成長を見るたびに、社をつくる使命感と参加できたことへの誇りを感じます。これは自分たちのためではなく、子孫のための活動です。成果はすぐには表れませんが、意識をずっと保ち続けていきたいと思っています。

岸本 健司

事務局コメント

従業員の自主性に任せているため、全員参加を実現することの難しさを痛感したことや、炎天下での重労働、マウンドを作る際に配管を壊して大騒ぎになったことなど、これまでいろいろな苦労がありましたが、これらを乗り越えたときは天下統一を成し遂げた徳川家康のような気持ちでした。今後も、杜を拡大するにあたっての課題はたくさんありますが、従業員みんなで力を合わせて杜をつくりあげていきたいと思っています。

三重工場 岡田 久隆



宮脇氏のコメント全文、およびその他の従業員のコメントはウェブ版に掲載しています。併せてご覧ください。

ヨコハマタイヤコーポレーション



日本文化に触れることのできる良い機会となり、家で子どもたちとリサイクルを始めるきっかけにもなりました。自分が携わったものが形として残る喜びがあり、地球規模の環境へも関心を持つようになりました。

Tim Fretwell